

熱方程式の解に対する $M_{p,q}^s$ ノルム評価

東京理科大学大学院 理学研究科 中嶋 克臣

本研究では、次の熱方程式の初期値問題に対して波束変換を用いて $M_{p,q}^s$ ノルム評価を行う。

$$(1) \quad \begin{cases} (\partial_t - \frac{1}{2}\Delta)u = 0, & (t, x) \in [0, \infty) \times \mathbb{R}^n, \\ u(0, x) = u_0(x), & x \in \mathbb{R}^n. \end{cases}$$

ここで $\Delta = \sum_{j=1}^n \frac{\partial^2}{\partial x_j^2}$ とする。 $u_0 \in \mathcal{S}'(\mathbb{R}^n)$ とすると (1) の解は $u(t, \cdot) = e^{\frac{t\Delta}{2}} u_0 = \mathcal{F}^{-1}[e^{-\frac{t|\xi|^2}{2}} \mathcal{F}[u_0]] \in C([0, \infty); \mathcal{S}'(\mathbb{R}^n))$ となる。 [2] の方法を真似て (1) の波束変換を考える。

定義 1. $\varphi \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n) \setminus \{0\}$ とする。 このとき、 $f \in \mathcal{S}'(\mathbb{R}^n)$ に対し関数 φ から定まる f の波束変換 $W_\varphi f$ を次のように定義する。

$$W_\varphi f(x, \xi) = \mathcal{F}_{y \rightarrow \xi}[\overline{\varphi(y-x)} f(y)](x, \xi).$$

このときすべての $f \in \mathcal{S}'(\mathbb{R}^n)$ に対し $W_\varphi f \in C^\infty(\mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n)$ となる。 また、多項式増大を持つ $F \in C^\infty(\mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n)$ に対し $W_\varphi^{-1} F(x) = \frac{1}{(2\pi)^{\frac{n}{2}} \|\varphi\|_{L^2}^2} \iint \varphi(x-y) F(y, \xi) e^{ix \cdot \xi} dy d\xi$ とおくと、 $W_\varphi^{-1} \cdot W_\varphi = I$ on $\mathcal{S}'(\mathbb{R}^n)$ となる。

定義 2. $\varphi \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n) \setminus \{0\}$ であるとする。 このとき $1 \leq p, q \leq \infty, s \in \mathbb{R}$ に対して modulation 空間 $M_{p,q}^s$ を次のように定義する。

$$M_{p,q}^s = \left\{ f \in \mathcal{S}'(\mathbb{R}^n) \mid \|f\|_{M_{p,q}^s, \varphi} := \|\langle \xi \rangle^s W_\varphi f(x, \xi)\|_{L_x^p L_\xi^q} < \infty \right\}.$$

注意 3. $M_{p,q}^s$ は窓関数 $\varphi \in \mathcal{S}(\mathbb{R}^n) \setminus \{0\}$ に依らずに定まる。

$\varphi_0(x) = e^{-\frac{|x|^2}{2}}$ とするとき、 (1) の解 $u(t, \cdot) = e^{\frac{t\Delta}{2}} u_0$ の波束変換は [2] と同様な方法により次のようになる。

$$(2) \quad \begin{aligned} W_{\varphi_0}[e^{\frac{t\Delta}{2}} u_0](x, \xi) &= W_{\varphi_0(t)} u_0(x - it\xi, \xi) e^{-\frac{t|\xi|^2}{2}} \\ &= \frac{\exp(-\frac{t|\xi|^2 - 2itx \cdot \xi}{2(1+t)})}{(1+t)^{\frac{n}{2}}} W_{\varphi_0(\frac{x}{\sqrt{1+t}})} u_0(x, \frac{\xi}{1+t}). \end{aligned}$$

但し、 $\varphi_0(t, \cdot) = e^{\frac{t\Delta}{2}} \varphi_0$ である。 このとき、 (2) を $0 \leq t \leq 1, 1 \leq t$ に分けて評価することで [1] で得られている評価が別の方法で得られた。

定理 4. [1] $1 \leq p, q \leq \infty, s \in \mathbb{R}$ を定数とし、 $1 \leq p', q' \leq \infty$ を $p' \leq p, q' \geq q$ をみたすものとする。 このとき、ある定数 $C > 0$ が存在して、任意の $u_0 \in M_{p',q'}^s$ に対し

$$\|e^{\frac{t\Delta}{2}} u_0\|_{M_{p,q}^s, \varphi_0} \leq C(1+t)^{\frac{n}{2}(\frac{1}{p} - \frac{1}{p'})} (1+t^{\frac{n}{2}(\frac{1}{q'} - \frac{1}{q})}) \|u_0\|_{M_{p',q'}^s, \varphi_0} \quad (\forall t > 0)$$

が成り立つ。 但し、ここで $\varphi_0(x) := e^{-\frac{|x|^2}{2}}$ とする。

参考文献

- [1] T. Iwabuchi, *Well-posedness of solutions for nonlinear heat equations and Navier-Stokes equations in modulation spaces*, preprint.
- [2] K. Kato, M. Kobayashi, S. Ito, *Remark on wave front sets of solutions to Schrödinger equation of a free particle and a harmonic oscillator*, SUT Journal of Mathematics Vol. 47, No. 2 (2011), 175–183.